



**尾張旭ロータリークラブ** *Weekly*

**「例会は親睦なり、深めよう親睦！」**

・会長 井田 武憲  
 ・幹事 桜井 雅博  
 ・会報 占橋 裕志  
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945  
 E-mail: owarisahi@mtc.ki-giohara.jp  
 URL: http://www.owarisahi-rc.jp/

・例会日 毎週金曜日 12:30  
 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3

ふれあい、思いやり、そして握手

**本日 第2048回 2013年3月8日(金) No. 1938**

**本日のプログラム Today's Program**

**点 鐘**

**ロータリーソング「それこそ ローター」**

**卓話者:大野OFDY委員長**

**フォーラム**

**演 題:「OFDY委員会として今後の活動例等について」**

**前 回 第2047回 2013年3月1日(金) 記 録**

- 齊 唱:「君が代」・「奉仕の理想」
- 来訪者:瀬戸RC 大竹 一義君
- 出席者:会員28名中21名出席 出席率75.00%  
前々回補正出席率は2月15日分 100%

**会長あいさつ 井田 武憲**



2月24日(日)第18回尾張旭市生涯学習フェスティバル、尾張旭市文化協会舞踊部発表会が、市文化会館大ホールに於いて開催されました。小生の吟詠会が所属している尾張旭吟剣詩舞道連盟が賛

助出演の依頼を受け参加しました。

まず、男子の部では、歌謡吟詠「相生舟」(あいおいぶね)(結婚式用の祝の歌)ですが、この歌謡吟詠とは、歌謡曲の一番「孔雀が翼を広げたような～」と二番の歌詞の間に詩吟(漢詩の四行詩)「妻となり、夫となる～」を挿入して歌い吟じます。時間としては、約5～6分間ぐらいです。次に女子の部では、童謡吟詠「月の砂漠」も同じように歌い吟じます。

舞台は市の文化会館(約1000人収容)の大ホールです。舞台裏にて待機している間の気持ちの高ぶりは大変な状況です。

いよいよ本番、どん帳がゆっくりと上がり、まばゆ

いばかりのライト!! 目の前は、まっ白?それとも真っ暗?客席は見えません、というより見えません。それは、お客さん(観客のみなさん)が視界に入らない方が舞台上がらないためです。ですから正面を注視して吟ずるのみです。終わってみると「手に汗握る」のごとしです。歌い吟じ終わった時のそう快感、充実感出演した者のみのだいご味だと思います。苦勞して覚えた歌詞、詩文があつてこそ、そのふん気が味わえるものだと思います。

客席に戻りバックランドミュージック(伴奏)を聞きながら優美な舞踊を鑑賞できる機会に恵まれたことに感謝しつつ寒い一日でしたが有意義に過ごすことができました。

**おめでとう**

- ・結婚記念日:
  - 3月 3日 水野 幸彦君
  - 3月 6日 森井 晴生君
  - 3月16日 西尾 輝久君
  - 3月18日 古橋エツ子君
  - 3月30日 井田 武憲君



△結婚記念日の祝福の会員です。

----- **識字率向上・OFDY月間** -----

	3月15日(金)	3月22日(金)	3月29日(金)	4月 5日(金)
<b>例会予定</b>	卓話担当者:仲澤 昌容君 卓話者:愛知県立大学・名古屋造形大学 非常勤講師 NPO法人やきもの文化と芸術振興協会理事長 浅田員由様 演 題:「瀬戸やきもの」	卓話者:木村次次郎君 演 題:「旭労災病院の現況と将来」	卓話者:箕輪財務委員長 演 題:「中間報告」	卓話者:箕輪会員増強委員長 演 題:「未定」
3分間スピーチ	なし	富田 晃君	小柳 和之君	飯田 幸雄

・誕生日祝福



- 3月 4日  
仲澤 昌容君  
ご夫人 敦子様
- 3月 5日  
森井 晴生君
- 3月13日  
西尾 輝久君  
ご夫人 淑子様
- 3月15日 古橋エツ子君ご主人 勝久様
- 3月30日 小柳 和之君ご夫人 ミエ様

(次年度仲澤プログラム委員長)  
資料-3を参照、素案の提示は了承、今後は次期幹事の提案案件とするよう要請された。  
7) その他の件。  
・6/9 4RC (瀬戸RC・尾張旭RC・瀬戸北RC・愛知長久手RC) 合同ゴルフ大会について、資料-4参照にて、了承された。  
・4/5 三河安城RCのメンバー2名の方、当クラブへ来訪のこと、報告がありました。

卓 話

幹事報告

- ・2/27 地区ロータリー財団委員会 於ガバナー事務所分室 加藤清久地区グローバル委員出席。
- ・例会変更のお知らせ：別紙。

ニコボックス

- 久しぶりにお邪魔しました。今年もよろしくお願いたします。(瀬戸RC) 大竹 一義君
- 大竹一義さん、ようこそおいでいただきました。今後もよろしくお願いたします。 加藤 清久君
- 大竹一義さん、ようこそ。いつもの笑顔にホットします。 福岡 健君
- 結婚記念日を祝っていただき。 井田 武憲君  
西尾 輝久君、古橋エツ子君、森井 晴生君
- 誕生日を祝っていただき。 森井 晴生君
- 主人の誕生日を祝っていただき。 古橋エツ子君
- 家内の誕生日を祝っていただき。  
小柳 和之君、仲澤 昌容君、西尾 輝久君
- 3月の誕生日、結婚記念日の方々、大変おめでとうございます。 浅野 善吉君
- 初めての卓話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。 森井 晴生君
- 森井さんの卓話を楽しみにしています。  
飯田 幸雄君、唐井 仁一君  
古橋 裕志君、箕輪 良孝君、山田 直樹君
- 庭の梅の花が咲きました。梅一輪程の暖かさ、春はもうすぐですネ。 伊豆原浩二君
- お忙しの君。 富田 晃君

第12回(現・次期)理事役員会

- 日時 平成25年3月1日(金) 13:40～  
場所 尾張旭市商工会館内 第一会議室  
議題1) 地区協議会出席義務者について。  
(加藤清久副幹事)  
資料-1を参照にて、了承された。  
2) 春の家族会の件。(山田親睦活動委員長)  
資料-2を参照、高山方面にて了承された。  
3) 仙台空港、バナー、モニュメント寄付について。(桜井幹事)  
バナーを送ることで了承された。  
4) 国際奉仕(WCS) 寄付について。  
(飯田国際奉仕委員長)  
今回は見送ることで了承された。  
5) 名古屋経営短期大学へ尾張旭RC会員による出前講座講師依頼について。(桜井幹事)  
了承され、人選は後日発表。  
6) 次年度プログラムについて。

「私の元なる事々」

森井 晴生



森井家の天理教への入信は、明治21年頃、曾祖父の姉が6年間患っていた難病を一夜の間におたすけ頂いた奇跡が発端です。聞かせていただく教理によると、互いたすけ合いの陽気ぐらしが人間の目的であり、そのためには人間が我欲を去り、たすけ合いの実践に努める事が大切で、その実践の手立てとして、万(よろず)をたすけを頂戴する「おつとめ」と、病をたすけて頂く「おさづけ」があり、その「おさづけ」で曾祖父の姉はたすけて頂きました。

曾祖父は入信以来6年かけて素封家(そほうか)だった家の土地建物等財産を全て売り払い、人だすけのため喜捨を続け、布教に専念しました。天理教の教えは人を介し様々な地域に伝道されますが、曾祖父は過去にたすけた人々が布教をする様々な地域から教会の再建や信者の丹精等の依頼を受け、身を粉にして各地を奔走し、最後に大正11年、名古屋大教会の二代目会長に就任しますが、ここでも再建を果たし、昭和5年、67歳で生涯を閉じます。その後代々森井家が引き継ぎ、現在、私が五代目会長であります。

私は森井家の長男として生まれましたが、それだけで現在の立場になったわけではなく、私が19歳の時、留学先のボストンで突然倒れ、当時はまだ脳医学が発達していませんでしたが、診断の結果、先天性の毛細血管形成異常の海綿状血管腫という病名でした。病院では看護師が「若いのに可哀想ね」と囁いているのが聞こえてしまい、一時は死をも覚悟しましたが、代々が熱心に信仰してくれたお蔭で手術は大変うまくいき、今も、こうしてここに居らせて頂きます。冥加という言葉がござりますが、私は、目には見えねど先祖のお蔭で神様に守られて、今があります。この死を覚悟した病をおたすけ頂いた事が私自身の入信の元一日であり、私はその後天理大学に再入学し、その後天理教本部や新潟を布教地として修行し、平成6年、天理教名古屋大教会の会長に就任、本年8月で在籍19年目になります。